

一般社団法人岡山県計量協会 環境計量証明部会令和7年度年会
記念講演の感想について

- ・大変力強く講演頂きまして、ありがとうございました。私たちの業界に特化した内容を盛り込んで頂きまして感謝の言葉しかありません。
- ・具体的な生成 AI の種類もご紹介頂き、大変参考になりました。
- ・目的・目標・問題・課題のフローを最初に説明なさるとは、さすが同友会の学びが生きていると思った次第です。
- ・強いて要望を伝えるとすると、効果の一例として、「〇〇時間が■時間短縮」と具体的な数値効果を示されたのですが、さらに具体的に今まで〇〇作業をしていたところを AI 導入によって、■作業により、△△して、●●時間削減出来る！とより具体的な作業姿がイメージ出来る具体例が一つでもお示し頂ければ、なお良かったかなと思います。今後のご活躍をお祈りしております。
- ・実際に使用例を見ることが出来、自社にどう活用できるかの具体的なイメージを膨らませるきっかけとなった。気にはなっていたがなかなか時間を使って聞くタイミングがなかった内容だったので、かなり満足。
- ・早速議事録作成時に使用する PLAUD は手に入れました。
- ・この度の「生成 AI を用いた業務効率化」に関するセミナーは非常に有意義な時間となりました。講師の玉置順一氏による分かりやすく実践的な解説を通じて、生成 AI の可能性と注意点を理解することができました。

現在自社では生成 AI についての使用についてはあまり進んでおらず、単純な入力作業であっても手作業に頼ることが主となっております。何とか効率化に繋げるシステムなどが今後使えないかと考えていたこともあり大変参考になりました。

冒頭に「AI については入れたらどうにかなるものではなく、導入する際は目的と目標を設定した上で計画を立てなければ効果が得られない。」とのお話がありましたが、生成 AI で出来る事も昨今では多様化しており、使用する我々が目的を理解した計画を立てなければならないと思いました。

一方で、生成 AI の「ハルシネーション（AI が実在しない情報や誤った情報を自信をもって回答する現象）」というリスクについても丁寧に説明がありましたが、AI の出力を鵜呑みにせず必ず人間の目で確認・検証することの重要性を再認識しました。これは、AI を業務に導入する上で欠かせない視点だと感じます。特に我々の業界では数字自体が成果物となるので、この部分の信頼性が崩れるようなことがあってはならないと思います。

今後、生成 AI は業務を行っていく中で欠かせない物になるかと思われませんが、今回学んだ内容を社内でも共有し、明確な目的をもって生成 AI を正しく利用していきたいと思います。この度はありがとうございました。

- ・ 先日は「生成 AI を用いた業務効率化」セミナーでご講演いただき、ありがとうございました。

基礎的な内容から具体的な事例まで丁寧にご説明いただき、とてもわかりやすかったです。

生成 AI の使い方だけでなく、「目的と手段を区別することの大切さ」から始まった点が印象的でした。便利なツールだからこそ、「何のために使うのか」を考える視点が大事だと、あらためて実感しました。

特にハルシネーションやセキュリティに関する注意点は、知らずに使うと危険だということがよくわかり、今後活用する上での指針になりました。

ちなみにこのアンケートも、生成 AI で校正しました。

また機会がありましたら、よろしくお願いいたします。

- ・ AI の活用は、情報検索や文章の作成ぐらいに考えていましたが、講演をお聞きしてプログラムやホームページの作成、音声認識の感度や議事録の作成まで多岐にわたることに驚きました。

情報の管理については、より一層むずかしくなりそうだなと印象を受けました。

- ・ 生成 AI には正直ついていけないと思い、今まで出来るだけ避けていましたが、今回の講演を聞き、直ぐには業務の効率化に直結しなくても、軽い気持ちで少しずつ使ってみようと思いました。そのような意識になったのは、玉置先生が初心者の気持ちに寄り添って、分かりやすく説明してくださったからだと思います。ありがとうございました。